

## 2023 年度事業報告

公益法人日本スカッシュ協会は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

### ■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会

- 第 34 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会  
日程:2023 年(令和 5 年)5 月 27 日・28 日  
会場:Greetings Squash Saitama  
参加人数:69 名
  
- 第 34 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会  
日程:2023 年(令和 5 年)7 月 26 日~29 日  
会場:Greetings Squash Saitama  
参加人数:207 名
  
- 第 29 回スカッシュマスターズカーニバル  
日程:2023 年(令和 5 年)10 月 14 日~15 日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE  
参加人数:176 名
  
- 文部科学大臣杯争奪第 52 回全日本スカッシュ選手権大会(冠は予定)  
<令和 5 年度スポーツ振興基金助成>  
日程:2023 年(令和 5 年)11 月にて検討中  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE &トレッサ横浜  
<4面ガラスコート設置開催>  
参加人数:176 名
  
- 2023JSA ジュニアチャレンジカップ  
日程:2023年(令和 5 年)12月 23 日・24 日  
会場:Squash Magic Academy Squash&Golf
  
- JOC ジュニアオリンピックカップ第 28回全日本ジュニアスカッシュ  
選手権大会  
日程:2024 年(令和 6 年)3 月27~29 日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE  
参加人数:128 名

## 普及渉外委員会

- ① World Squash Day / World Squash Week の実施  
主催:(公社)日本スカッシュ協会  
共催:世界スカッシュ連盟  
日程:2024年(令和6年)10月15日  
World Squash Week 2024年10月1日~15日  
内容:世界連盟と連携し世界中の選手・愛好家達と競技の魅力を共有、発信。
- ② 法人向け新協賛プラン(プレミアムパートナー)、日本代表サポートプランの策定に伴う協賛促進
- ③ 協会主催大会等のスポンサー契約及び協賛の増進  
全日本選手権を軸とした、全日本U23、ジュニアチャレンジカップ、マスターズカーニバル5大会への更なる協賛依頼活動を行う。
- ④ エアースカッシュキャラバンでの競技普及事業の促進  
2022年度の実施実績を軸に、新規を含め全国各地に更なる普及活動を行った。
- ⑤ JSA ミッションである“To The Next Generation”へ向けて次世代選手達へ「正の遺産」を残すための基盤作りを本格的に始動した。

## 広報委員会

- ① 広報機関誌「SQUASH」の発行 (年2回)  
<2023年度日本スポーツ振興くじ助成事業>  
Vol. 93号 (夏の号) 2023年9月発行+電子ブック  
Vol. 94号 (冬の号) 2024年3月発行+電子ブック  
・2023年度より紙媒体は縮小し、電子ブック化に移行した
- ② 選手強化活動(イベント、トレーニング)の写真、YouTubeのコンテンツとして動配信

## 選手強化委員会

2023年度 ナショナルチーム活動 (※は、JOCNF 強化事業補助金対象事業)  
<海外派遣事業>

### 【シニアチーム】

項目	開催月	場所	対象
アジア選手権個人戦 ※	6/6~ 10	香港	ナショナルトップチーム

ワールドカップ	6/13 ~17	インド・チェンナイ	ナショナルトップチーム
アジア競技大会（団体）	9/26 ~30	中国・杭州	ナショナルトップチーム
アジア競技大会（個人戦・MIX ダブルス）	10/1 ~5	中国・杭州	ナショナルトップチーム
男子世界選手権団体戦 ※	12/1 ~17	ニュージーランド	ナショナルトップチーム
東アジア選手権 ※	3/7 ~11	中国・海寧	ナショナルトップチーム
DX 化促進支援事業 ※			

### 【ジュニアチーム】

第 30 回アジアジュニア個人戦 ※	8/16 ~20	中国/大連	ジュニアナショナル
世界ジュニア（個人戦） ※	7/18 ~23	オーストラリア/メル ボルン	ジュニアナショナル

### <国内強化事業>

ナショナルトレーニング	通年	Greetings Squash Saitama	ナショナル
スカウト選手練習会	通年	SQ-CUBE	スカウト選手 一般ジュニア
ジュニア夏キャンプ	8月	関東地区	スカウト選手 一般ジュニア
西日本ジュニアキャンプ	9月	西日本地区	スカウト選手 一般ジュニア
ジュニアナショナル強化練習会 ※	3月	関東地区	ジュニアナショナル
ナショナル強化合宿	3月	関東地区	シニアナショナル・ジュニアナシ ヨナル

### <海外選手派遣強化事業>

・パナンジュニアオープン ※ 2024(令和6年)年6月20日~25日

### ☆選手強化委員会【コーチ部会】

- ・コーチングワークショップ開催
- ・レベル T 講習会・レベル1講習会開催
- ・ホームページと協会公式 SNS 等を利用したコーチングに関する情報発信を実施

### <事務的活動>

- ・レベル2コースのテキスト及びカリキュラム作成
- ・レベル T 及びレベル1資料の見直しとアップデート

・新規コーチ実施者へのサポート体制構築(部会内にチームを発足させた)

### 競技委員会

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成
- ② 公認大会運営マニュアルの適正運用と見直し
- ③ 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、における競技関係を支援する。

### レフリー委員会

- ① レフリー委員会ミーティング(オンライン)
- ② レフリーワークショップ(リアル又はオンライン)
- ③ 審判講習会は随時開催(支部からの開催依頼があった場合に対応をしていく)
- ④ アジア選手権個人戦へのレフリー派遣(渡航費協会負担)
- ⑤ 情報活動として以下を行う予定
  - \*協会 HP 内にて、レフリーのスキルアップのための情報を提供していく
  - \*1 級設置に向けての資料・カリキュラム作成
  - \*国内公認大会におけるレフリーアセスメント実施

### 規則公認委員会

- ① JOC ガバナンスコード適合評価指摘の規則整備
  - ・「処分手続規程」
  - ・「通報・相談窓口に関する規程」
  - ・「倫理・コンプライアンス規程」(改訂)
- ② 不足規則の洗い出しと策定
  - ・「リスク管理規程」
  - ・「個人情報保護規程」
  - ・「利益相反規程」
- ③ そのほか既存規程の見直し・改訂
  - ・「運営規則」
  - ・「アスリート委員会規則」
  - ・「選手選考規程」
- ④ コート審査・公認
  - ・いっさきRed Brick(4 月)
  - ・エイムスカッシュ(7 月)
  - ・JSM(12 月)
- ⑤ 研修会開催・参加
  - ・ガバナンス研修会開催(6 月) <2023 年度スポーツ振興くじ助成事業>
  - ・JOC 第 6 回スポーツ審議会スポーツ・インテグリティ部会参加(8 月)
  - ・JOC 第 1 回ガバナンスコード研修会参加(9 月)

## 総務委員会

### ① 会員募集事業と管理

\*個人会員及び団体会費の募集と登録協力を依頼する。

プレミアムパートナー会員については、2023 年度より JSA パートナープログラムへ移行。

個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アップロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。2023 年度より団体会員の登録についても「スポーツエントリー」の利用している。

※2023 年度の会員募集は、団体会員 1/12～個人会員 2/4～開始。

### ② JOC,JADA,等各加盟団体との連携。

### ③会議体運営

専門委員会委員長会議と常務理事会の連携、TEAMS の活用により、各委員会活動の情報共有をすすめた。

### ④ 各種規程類の整備

未制定の各種規程類について整備を推進。

### ⑥ 財務担当活動

・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2022 年度財務諸表を理事会及び総会に諮り承認。

・2023 年度の人事労務・経理入力および管理。

・2024 年度の予算案の策定及び理事会での承認

・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。

日本スポーツ振興くじ助成 公式機関誌制作及びガバナンス研修会

日本スポーツ振興基金助成 第 52 回全日本スカッシュ選手権大会

### ⑥ 公益社団法人定期報告

・2022 年度定期事業報告提出⇒6 月

・2023 年度定期事業計画提出⇒3 月

## ☆総務委員会【国際部】

① 世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)をはじめとする国際連盟、関係各国協会、PSA(プロ協会)と情報収集と連携強化。

② 世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟主催の総会と連携。東アジアスカッシュ連盟の総会には会長として出席。 ルール変更などの通達事項の国内競技者への報告。大会スケジュール情報を収集し各専門委員会との連携発信。

③ 2026年アジア競技大会に向けて名古屋市議会議員への懇願活動、大会組織委員会へ大会組織委員会の提案競技入りへ向けプレゼンテーション資料作成および提出。大会組織委員会・アジアスカッシュ連盟との協議により大会会場の決定。

④ ワールドマスターズゲームズ 2027 関西に向けての組織委員会とからの情報収集と京都市実行委員会、JSA 関西支部との連携再編成。

⑤ 2028 ロサンゼルスオリンピック追加競技入りに伴い国際大会における代表選手派遣

手続きの効率化と業務手法の再構築

### ☆総務委員会【アスリート部会】

・MT オンライン開催

・選手へのヒアリング

- ① ドローのシーディングシステムの意見収集及び提案、検討
- ② 強化指定選手からの意見収集及び提案

### 総務委員会【アンチ・ドーピング部会】

- ① 教育講習会を実施 日程 3月に課題提出物にてナショナルチーム(強化指定候補およびジュニア含む)合計30名に実施

### 地区支部委員会

- ① 地区支部委員会 23年度7回開催。
- ② 各地区支部の活動状況と課題の共有・解決策の検討
- ③ 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案
- ④ 地区支部における会員数拡大のための施策検討  
・会員制度の改革を提案(フレンドシップ会員の創設)

### 学連委員会

- ① 全日本学生連盟との定期ミーティング開催(毎月)
- ② 学生向け審判講習会発案 ※実施はレフリー委員会
- ③ 全日本アンダー23 の学生協力依頼と実施
- ④ 学連復帰大学に関する討議
- ⑤ インカレ 50 回記念大会の PR 企画討議
- ⑥ FSU 世界学生に関する確認 ※FSU と学生の橋渡しは協会事務局
- ⑦ 登録料に関する協議・確認